

2014年12月 個人投資家様向け会社説明会 主な質疑応答(要旨)

2014年12月に開催いたしました個人投資家様向け会社説明会の主な質疑応答(要旨)を以下にご案内いたします。

Q. 円谷プロダクションの資本構成をお聞かせください。

A. 当社が円谷プロダクションの株式を51%保有しており、バンダイ社が49%保有しています。

Q. 海外から日本を訪れる方々が増えているが、パチンコ・パチスロ業界ではどのような取り組みを行っているのか？

A. 例えば、パチンコホールでは、英語、中国語、韓国語等の遊技機ガイドの設置やWEBサイトの拡充、外国人や留学生の採用などを行っています。

また、遊技機メーカーにおいては、世界的に知名度の高いコンテンツを活用した遊技機の開発なども進めています。

Q. フィールズはどのようなコンセプトを持って作品を創出しているのか？

A. 当社は、国内外問わず、幅広い世代から親しまれるキャラクターやストーリーとして ヒーローというコンセプトを掲げ、現在は、その創出、育成を進めています。

Q. パチンコ・パチスロにおける高齢者向けの施策についてお聞かせください。

A. 例えば、パチンコホールでは、ファンの初期投資を抑え、かつ長くご遊技頂くために、低貸玉営業と呼ばれる営業形態が普及しつつあります。また、パチンコ業界団体では、チューリップ機のような初心者でも単純明快に遊べる遊技機の企画開発を目指した取り組みも進められています。

Q. カジノに対する施策について、ご意見をお聞かせください。

A. 仮に、国内にテーマパーク、劇場、カジノなど、様々なエンタテインメントを統合した施設が開設した場合、国内外から訪れた幅広い方々を楽しませるためにも、日本独自のコンテンツが必要不可欠になると考えています。
当社では、知的財産を活用した商品やサービスの展開を進めており、カジノを含む統合型リゾート施設においても、知的財産の展開先の一つと捉え、日々、調査・研究を重ねています。

Q. 2016年3月期以降、どのように収益を増加させていくのかお聞かせください。

A. 短期的には、遊技機分野において提携メーカーを拡大し、タイトル数の増加させることで、収益向上を目指しています。